

第4款 地域創生費

(単位:千円)

事業名		本年度	前年度	比較
第4款 地域創生費		6,953,984	6,117,150	836,834
1項	地域創生費	953,716	860,964	92,752
1目	地域創生総務費	282,640	221,567	61,073
	職員給与	228,386	163,641	64,745
	総務調整費 P. 53	12,885	13,823	△ 938
	社会参加費	729	729	
	文化スポーツ施設等特別維持整備 P. 53	40,640	43,374	△ 2,734
2目	地域づくり支援費	400,472	372,834	27,638
	地域政策推進 P. 53	4,734	4,748	△ 14
	地域振興調整費 P. 54	60,000	60,000	
	地域公共事業調整費 P. 54	297,000	297,000	
	防衛施設周辺整備事業促進	328	316	12
	過疎地域持続的発展支援 P. 54	6,191	6,679	△ 488
	山村振興対策 P. 55	1,268	1,247	21
	地域おこし協力隊の活動・定住支援 P. 55	3,286	2,819	467
	地域連携強化 P. 56	27,665	25	27,640
3目	土地対策費	28,778	28,297	481
	土地利用対策 P. 56	28,778	28,297	481
4目	水行政調整費	241,826	238,266	3,560
	水資源対策 P. 57	10,621	11,490	△ 869
	発電施設周辺整備 P. 57	231,205	226,776	4,429
2項	ぐんま暮らし・外国人活躍推進費	351,357	293,945	57,412
1目	ぐんま暮らし・外国人活躍総務費	100,116	98,233	1,883
	職員給与	100,116	98,233	1,883
2目	移住促進費	206,737	155,004	51,733
	ぐんま暮らしブランド化推進 P. 58	47,237	49,292	△ 2,055
	ぐんまでテレワーク推進プロジェクト P. 58	5,000	4,762	238
	わくわくぐんま生活実現支援 P. 58	154,500	100,950	53,550
3目	外国人活躍推進費	44,504	40,708	3,796
	外国人活躍推進 P. 59	12,874	9,433	3,441
	多文化共生支援 P. 59	31,630	31,275	355
3項	文化振興費	2,797,168	2,761,251	35,917
1目	文化振興総務費	737,462	750,100	△ 12,638
	職員給与	737,462	750,100	△ 12,638
2目	文化振興費	704,513	667,823	36,690
	文化づくり推進 P. 60	63,393	120,840	△ 57,447
	文化団体等育成 P. 60	25,993	25,963	30
	芸術文化事業推進 P. 61	340,521	329,711	10,810
	教育文化事業団運営 P. 61	153,703	110,332	43,371
	埴輪王国ぐんま発信 P. 62	120,903	80,977	39,926
3目	文化施設費	153,898	191,374	△ 37,476
	文化施設整備推進 P. 62	52,045	50,256	1,789
	県立文化施設管理 P. 62	101,853	141,118	△ 39,265
4目	世界遺産費	120,405	118,310	2,095
	世界遺産継承推進 P. 63	120,405	118,310	2,095
5目	近代美術館費	216,320	216,440	△ 120
	近代美術館運営	172,759	173,929	△ 1,170
	美術展示 P. 64	35,801	34,584	1,217
	教育普及活動	4,204	4,206	△ 2
	調査研究	3,556	3,721	△ 165

事業名		本年度	前年度	比較
6目	館林美術館費	178,967	186,590	△ 7,623
	館林美術館運営	144,319	144,220	99
	美術展示 P. 64	29,511	37,234	△ 7,723
	教育普及活動	3,409	3,408	1
	調査研究	1,728	1,728	
7目	歴史博物館費	208,445	205,582	2,863
	歴史博物館運営	147,780	147,382	398
	博物展示 P. 65	50,166	47,586	2,580
	教育普及活動	4,025	4,044	△ 19
	調査研究	6,474	6,570	△ 96
8目	自然史博物館費	361,392	315,241	46,151
	自然史博物館運営	282,282	241,148	41,134
	博物展示 P. 65	60,499	61,177	△ 678
	教育普及活動	2,788	2,755	33
	調査研究	15,823	10,161	5,662
9目	文学館費	68,410	67,693	717
	文学館運営	46,341	46,488	△ 147
	文学資料展示 P. 66	13,014	12,277	737
	教育普及活動	2,434	2,448	△ 14
	調査研究	6,621	6,480	141
10目	世界遺産センター費	47,356	42,098	5,258
	世界遺産センター運営 P. 66	37,215	34,683	2,532
	普及啓発 P. 66	10,141	7,415	2,726
4項 文化財保護費	325,648	334,644	△ 8,996	
1目	文化財保護総務費	148,086	151,749	△ 3,663
	職員給与	148,086	151,749	△ 3,663
2目	文化財保護費	177,562	182,895	△ 5,333
	文化財保存活用	7,833	9,981	△ 2,148
	文化財保存管理指導 P. 67	90,740	89,845	895
	埋蔵文化財保護対策	7,714	9,454	△ 1,740
	幹線交通・ダム文化財調査	5,429	5,022	407
	埋蔵文化財調査センター運営 P. 68	47,254	43,595	3,659
	「偲ぶ毛の国」群馬の魅力発掘・発信 P. 68	18,592	24,998	△ 6,406
5項 スポーツ振興費	2,526,095	1,866,346	659,749	
1目	スポーツ振興総務費	189,689	199,359	△ 9,670
	職員給与	189,689	199,359	△ 9,670
2目	スポーツ振興費	1,791,508	1,245,851	545,657
	スポーツ推進審議会運営	303	2,764	△ 2,461
	スポーツ団体運営費助成	103,832	100,916	2,916
	生涯スポーツ振興 P. 69	12,410	11,589	821
	スポーツイベント開催 P. 69	51,203	46,771	4,432
	プロスポーツ支援 P. 70	5,076	3,798	1,278
	競技力向上 P. 70	255,319	209,492	45,827
	国民体育大会 P. 71	1,100,804	601,069	499,735
	障害者スポーツ推進 P. 71	262,561	269,452	△ 6,891
3目	スポーツ施設費	544,898	421,136	123,762
	スポーツ施設管理・整備 P. 72	544,898	421,136	123,762

第1項 地域創生費 — 第1目 地域創生総務費・第2目 地域づくり支援費

年度	4	事業名 (事項)	総務調整費 文化スポーツ施設等特別維持整備		担当部課	地域創生部 地域創生課	
					担当者	総務係、調整・DX推進係	
					連絡先	027-226-2182、2186	
会計名	一般会計				説明書ページ	82	
予算科目	第4款 地域創生費 — 第1項 地域創生費 — 第1目 地域創生総務費						
事業期間	H20年 ~ 年		根拠法令				
	事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源		
当初予算額	53,525				53,525		
(前年度)	57,197				57,197		
(前々年度)	52,783				52,783		
決算額							
(前年度)	57,197	1,156			56,041		
(前々年度)	42,229				42,229		
事業目的 (県民にとってのメリットは?)					新・総合計画(基本計画)との関連		
<p>○主管課の予算執行管理及び調整機能を充実させ、予算の効率的・効果的・弾力的な執行を図る。</p> <p>○県有施設を有効に活用するため、建物等の維持、補修、修繕工事費等を一括計上。主に、小規模な工事費。</p>							
事業計画 (具体的に何をするのか?)					事業費(節)の内訳		
○主管課運営費(主管課の運営経費)					2,019千円	7 報償費	569
○部局調整費(年度途中で機動的対応が必要な経費)					9,501千円	8 旅費	1,695
○県民広報費(部内各所属の各種広報・啓発経費)					800千円	9 交際費	230
○調査研究費(部内各所属の各種調査・研究経費)					293千円	10 需用費	22,541
○指定管理者評価委員会の運営経費					272千円	11 役務費	561
○文化スポーツ施設等特別維持整備費					40,640千円	12 委託料	9,650
地域創生部所管の地域機関等の建物維持、補修、修繕工事等を効率的に実施するため、予算を一括計上し、年度途中で必要となった緊急の補修等にも対応						13 使賃料	94
						14 工事費	14,241
						17 備品費	3,559
						18 負担金	385

年度	4	事業名 (事項)	地域政策推進		担当部課	地域創生部 地域創生課	
					担当者	地域づくり支援係	
					連絡先	027-226-2352	
会計名	一般会計				説明書ページ	82	
予算科目	第4款 地域創生費 — 第1項 地域創生費 — 第2目 地域づくり支援費						
事業期間	年 ~ 年		根拠法令				
	事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源		
当初予算額	4,734		253		4,481		
(前年度)	4,748		279		4,469		
(前々年度)	20,746		15,279		5,467		
決算額							
(前年度)	4,748		279		4,469		
(前々年度)	8,211		5,651		2,560		
事業目的 (県民にとってのメリットは?)					新・総合計画(基本計画)との関連		
<p>住民、地域づくり団体による主体的な地域づくりを通じて、活力のある、魅力的なぐんまの地域づくりを推進するほか、両毛広域都市圏における広域的な連携を推進することなどにより、地域の発展、活性化を図る。</p>					VI 官民共創コミュニティの育成		
事業計画 (具体的に何をするのか?)					事業費(節)の内訳		
○地域づくりネットワーク推進					2,550千円	1 報酬	1,502
群馬県地域づくり協議会の運営						3 手当等	301
○両毛広域都市圏総合整備推進ほか					2,184千円	4 共済費	304
						8 旅費	349
						10 需用費	102
						11 役務費	89
						18 負担金	2,087

第1項 地域創生費 — 第2目 地域づくり支援費

年度	4	事業名 (事項)	地域振興調整費 地域公共事業調整費		担当部課	地域創生部 地域創生課	
					担当者	地域連携係	
					連絡先	027-226-2361	
会計名	一般会計				説明書ページ	82	
予算科目	第4款 地域創生費 — 第1項 地域創生費 — 第2目 地域づくり支援費						
事業期間	H16年 ~ 年		根拠法令				
	事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源		
当初予算額	357,000		165,000		192,000		
(前年度)	357,000		54,000		303,000		
(前々年度)	353,000		310,000		43,000		
決算額							
(前年度)	357,000		54,000		303,000		
(前々年度)	298,708		261,186		37,522		
事業目的 (県民にとってのメリットは?)					新・総合計画(基本計画)との関連		
振興局が管内の市町村や団体等と連携して、地域の政策課題に機動的かつ柔軟に対応することにより、各地域が自主的かつ主体的に地域の振興及び活性化を図る。					VI 官民共創コミュニティの育成		
事業計画 (具体的に何をするのか?)					事業費(節)の内訳		
○地域振興調整費 60,000千円 地域の振興及び活性化、地域の課題解決等のための事業や地域づくり活動の拠点となる住民センターの整備支援に対応するための経費等					7 報償費	620	
					8 旅費	900	
					10 需用費	15,648	
					11 役務費	2,262	
○地域公共事業調整費 297,000千円 複数部局にまたがる基盤整備や地域の課題に対応する公共事業に要する経費					12 委託料	8,600	
					13 使賃料	370	
					14 工事費	297,000	
					18 負担金等	31,600	

年度	4	事業名 (事項)	過疎地域持続的発展支援		担当部課	地域創生部 地域創生課	
					担当者	過疎山振係	
					連絡先	027-897-2776	
会計名	一般会計				説明書ページ	83	
予算科目	第4款 地域創生費 — 第1項 地域創生費 — 第2目 地域づくり支援費						
事業期間	S45年 ~ 年		根拠法令	過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法			
	事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源		
当初予算額	6,191	578			5,613		
(前年度)	6,679	1,266			5,413		
(前々年度)	5,670				5,670		
決算額							
(前年度)	6,390	1,266			5,124		
(前々年度)	4,741		4,500		241		
事業目的 (県民にとってのメリットは?)					新・総合計画(基本計画)との関連		
過疎地域を支える人々の生活と集落機能を守り、過疎地域が誇りに満ちた地域として持続的に発展できるよう支援するとともに、全県の課題として過疎地域が果たしている県土保全等の公益的機能を維持する。					VI 官民共創コミュニティの育成		
事業計画 (具体的に何をするのか?)					事業費(節)の内訳		
○過疎計画等推進指導 81千円 県過疎方針に基づき、市町村の過疎計画の策定等を支援するとともに、円滑な事業実施を支援					7 報償費	90	
					8 旅費	489	
					10 需用費	194	
○過疎地域いきいき集落づくり支援 4,136千円 過疎地域内の集落を対象に、住民が主体となり実施する集落の維持・活性化に資する事業を総合的に支援					11 役務費	205	
					12 委託料	776	
					18 負担金	437	
○過疎地域オンライン体感事業 1,157千円 デジタル技術を活用し、過疎地域の魅力と課題を発信することにより、地域の問題解決に繋げる事業を実施					18 補助金等	4,000	
○全国過疎地域自立促進連盟負担金ほか 817千円							

第1項 地域創生費 — 第2目 地域づくり支援費

年度	4	事業名 (事項)	山村振興対策		担当部課	地域創生部 地域創生課	
					担当者	過疎山振係	
					連絡先	027-897-2776	
会計名	一般会計				説明書ページ	83	
予算科目	第4款 地域創生費 — 第1項 地域創生費 — 第2目 地域づくり支援費						
事業期間	S40年 ~ 年		根拠法令	山村振興法			
	事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源		
当初予算額	1,268				1,268		
(前年度)	1,247				1,247		
(前々年度)	1,247				1,247		
決算額							
(前年度)	1,191				1,191		
(前々年度)	631				631		
事業目的 (県民にとってのメリットは?)					新・総合計画(基本計画)との関連		
本県山村地域の特性を踏まえながら都市と山村の交流を軸として、山村の魅力積極的に情報発信すること等により、県土保全等の多面的な機能を果たしている山村地域の振興を図る。					VI 官民共創コミュニティの育成		
事業計画 (具体的に何をするのか?)					事業費(節)の内訳		
○山村地域振興対策 376千円 山村振興基本方針に基づき、市町村の山村振興計画の変更等を支援するとともに、円滑な事業の実施を支援					7	報償費	80
					8	旅費	434
					10	需用費	543
○山村と都市との連携・協定支援 165千円 県内の過疎・山村地域の市町村と東京23区などの都市部自治体との連携・交流の拡大に向けた取組を実施					11	役務費	129
					18	負担金	82
○山村振興対策事務費ほか 727千円							

年度	4	事業名 (事項)	地域おこし協力隊の活動・定住支援		担当部課	地域創生部 地域創生課	
					担当者	過疎山振係	
					連絡先	027-897-2776	
会計名	一般会計				説明書ページ	83	
予算科目	第4款 地域創生費 — 第1項 地域創生費 — 第2目 地域づくり支援費						
事業期間	年 ~ 年		根拠法令				
	事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源		
当初予算額	3,286				3,286		
(前年度)	2,819				2,819		
(前々年度)	3,828				3,828		
決算額							
(前年度)	2,819				2,819		
(前々年度)	1,660		1,100		560		
事業目的 (県民にとってのメリットは?)					新・総合計画(基本計画)との関連		
若者の移住・定着をはじめ、地域の活性化に資する市町村の地域おこし協力隊の設置(活動、募集)を支援するとともに、起業・定住を支援することにより、地域の維持・発展と活性化を図る。					VI 官民共創コミュニティの育成		
事業計画 (具体的に何をするのか?)					事業費(節)の内訳		
○地域おこし協力隊募集相談会 746千円 地域おこし協力隊を募集する市町村と地域おこし協力隊を志す若者達のマッチングを都内で実施					7	報償費	540
					8	旅費	539
					10	需用費	629
○地域おこし協力隊ポータルサイト 621千円 ポータルサイトにより隊員の募集情報や活動情報等を発信					11	役務費	48
					12	委託料	1,031
○地域おこし協力隊関係各種研修会の開催 578千円 隊員同士の連携強化や任期終了後の定住支援のための各種研修会を開催					13	使賃料	70
					18	負担金	429
○地域おこし協力隊アドバイザー派遣ほか 1,341千円							

第1項 地域創生費 — 第4目 水行政調整費

年度	4	事業名 (事項)	水 資 源 対 策			担当部課	地域創生部 地域創生課	
						担当者	土地利用・水資源係	
						連絡先	027-226-2362	
会計名	一般会計					説明書ページ		83
予算科目	第4款 地域創生費 — 第1項 地域創生費 — 第4目 水行政調整費							
事業期間	年 ~ 年		根拠法令	水資源開発促進法				
		事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源		
当初予算額	10,621		510	1		10,110		
(前年度)	11,490		2,069	1		9,420		
(前々年度)	11,236		408	1		10,827		
決算額								
(前年度)	9,931		510	1		9,420		
(前々年度)	8,371		410	1		7,960		
事業目的 (県民にとってのメリットは?)						新・総合計画(基本計画)との関連		
○水資源開発基本計画等に基づき、水資源施設の維持管理等について国や関係機関との調整を行い、水の安定供給を図る。 ○水の大切さに関する啓発事業を実施し、貴重な水資源への理解を増進する。								
事業計画 (具体的に何をするのか?)						事業費 (節) の内訳		
○国や市町村等との水資源の総合調整 ・全国水需給動態調査の実施						1	報酬	356
						3	手当等	82
○水の大切さに関する啓発事業の実施 ・利根川水系上下流交流事業の実施						4	共済費	4
						7	報償費	35
・「全日本中学生水の作文コンクール」群馬県審査の実施						8	旅費	499
○水資源施設の管理費負担						10	需用費	407
						11	役務費	48
						18	負担金	9,190

年度	4	事業名 (事項)	発 電 施 設 周 辺 整 備			担当部課	地域創生部 地域創生課	
						担当者	土地利用・水資源係	
						連絡先	027-226-2362	
会計名	一般会計					説明書ページ		83
予算科目	第4款 地域創生費 — 第1項 地域創生費 — 第4目 水行政調整費							
事業期間	S57年 ~ 年		根拠法令					
		事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源		
当初予算額	231,205		230,852	353				
(前年度)	226,776		226,423	353				
(前々年度)	225,647		225,294	353				
決算額								
(前年度)	228,000		227,647	353				
(前々年度)	194,123		194,121	2				
事業目的 (県民にとってのメリットは?)						新・総合計画(基本計画)との関連		
発電用施設の周辺地域における公共用施設の整備、住民生活の利便性の向上及び産業の振興に寄与する事業を促進することにより、地域住民の福祉の向上、発電用施設の設置及び運転の円滑化を図る。								
事業計画 (具体的に何をするのか?)						事業費 (節) の内訳		
○電源立地地域対策交付金 ・交付対象者：運転開始後15年経過している水力発電用施設の存する17市町村 ・対象事業：道路、保育所運営、水道など ・交付金額：基準発電電力量×7.5銭(揚水3.75銭)/kWh(最低保証額440万円) ・交付期間：運転開始後15年経過以降から最大50年間 ・交付方法：国から県を経由して対象市町村に交付						1	報酬	659
						3	手当等	151
						4	共済費	8
						8	旅費	25
						10	需用費	7
						11	役務費	5
						18	交付金	230,000
						22	償還金	350

第2項 ぐんま暮らし・外国人活躍推進費 — 第2目 移住促進費

年度	4	事業名 (事項)	ぐんま暮らしブランド化推進 ぐんまでテレワーク推進プロジェクト	担当部課 担当者 連絡先	地域創生部 ぐんま暮らし・外国人活躍推進課 移住促進係 027-226-2371
会計名	一般会計			説明書ページ	84
予算科目	第4款 地域創生費 — 第2項 ぐんま暮らし・外国人活躍推進費 — 第2目 移住促進費				
事業期間	年 ~ 年	根拠法令			
	事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源
当初予算額	52,237	28,018	24,000		219
(前年度)	54,054	29,103	24,000		951
(前々年度)	54,448	26,033	20,000		8,415
決算額					
(前年度)	54,054	29,103	24,000		951
(前々年度)	53,235	26,464	24,399		2,372
事業目的 (県民にとってのメリットは?)				新・総合計画(基本計画)との関連	
○県内各市町村等との連携の下、オール群馬で移住を促進することにより、本県への移住促進を加速させる。 ○「転職なき移住」の対象であるテレワーカー等をターゲットに本県の利便性・優位性を発信する。				IV 県民総活躍社会の実現	
事業計画 (具体的に何をするのか?)				事業費(節)の内訳	
○ポータルサイトを活用した情報発信の強化 1,447千円				7 報償費	1,180
○相談体制の強化 36,455千円				8 旅費	1,726
移住相談会の開催、市町村のオンライン相談対応支援、都内の常設相談窓口であるぐんま暮らし支援センターの運営				10 需用費	2,316
○受入体制の強化 1,938千円				11 役務費	1,242
地域の顔育成研修、関係機関との連携による受入体制の構築				12 委託料	44,903
○関係人口の創出・拡大 7,397千円				13 使賃料	50
オンラインイベント開催、オンラインプラットフォーム活用等				18 負担金	820
○ぐんまでテレワーク推進プロジェクト 5,000千円					
法人向け商談会、お試しテレワーク(体験ツアー)の実施等					

年度	4	事業名 (事項)	わくわくぐんま生活実現支援 (移住支援金)	担当部課 担当者 連絡先	地域創生部 ぐんま暮らし・外国人活躍推進課 移住促進係 027-226-2371
会計名	一般会計			説明書ページ	84
予算科目	第4款 地域創生費 — 第2項 ぐんま暮らし・外国人活躍推進費 — 第2目 移住促進費				
事業期間	R元年 ~ R6年	根拠法令			
	事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源
当初予算額	154,500	103,000			51,500
(前年度)	100,950	67,300			33,650
(前々年度)	137,700	91,800			45,900
決算額					
(前年度)	100,950	67,300			33,650
(前々年度)	4,800	3,200			1,600
事業目的 (県民にとってのメリットは?)				新・総合計画(基本計画)との関連	
国がH30年度に策定した「わくわく地方生活実現政策パッケージ」を活用して、市町村と連携し東京圏からの移住者と県内の担い手の増加を強力に推進することにより、地域の維持・発展と活性化を図る。				IV 県民総活躍社会の実現	
事業計画 (具体的に何をするのか?)				事業費(節)の内訳	
○移住支援金の交付				18 補助金	154,500
・交付対象：県内に移住した次の①～⑤のうち、東京23区在住者または東京圏から東京23区への通勤者(③～⑤の要件は市町村ごとに異なる) ①マッチングサイト掲載求人枠での就業者 ②起業支援金交付決定者 ③テレワーカー、④専門人材、⑤関係人口 ・交付金額：世帯1,000千円、単身600千円、子育て世帯加算300千円/人 ・負担割合：国1/2、県1/4、市町村1/4					

第2項 ぐんま暮らし・外国人活躍推進費 — 第3目 外国人活躍推進費

年度	4	事業名 (事項)	外国人活躍推進		担当部課 地域創生部 ぐんま暮らし・外国人活躍推進課	担当者 外国人活躍推進係	連絡先 027-226-3396
会計名	一般会計				説明書ページ	84	
予算科目	第4款 地域創生費 — 第2項 ぐんま暮らし・外国人活躍推進費 — 第3目 外国人活躍推進費						
事業期間	年 ~ 年	根拠法令					
	事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源		
当初予算額	12,874	3,245	510		9,119		
(前年度)	9,433	1,995	6,506		932		
(前々年度)	9,639	3,698	3,600		2,341		
決算額							
(前年度)	6,733	645	5,156		932		
(前々年度)	2,200	885	1,179		136		
事業目的 (県民にとってのメリットは?)					新・総合計画(基本計画)との関連		
県内事業者による外国人材の適切な受入れ及び外国人材の県内定着に向けた支援等を行い、外国人も活躍できる環境づくりを促進する。					IV 県民総活躍社会の実現		
事業計画 (具体的に何をするのか?)					事業費(節)の内訳		
○多文化共創カンパニー認証制度 1,490千円 外国人材とともに活力を創り出すための特に優れた取組を行う事業者を認証し、海外での認知度向上や県内企業への普及啓発のため、これらの取組を情報発信					1 報酬	3,520	
					4 共済費	530	
					7 報償費	685	
					8 旅費	528	
○外国人材発掘支援事業 5,000千円 県内企業とベトナム人高度人材のマッチング機会の提供及び国内外国人留学生を対象とした合同企業説明会の実施					10 需用費	339	
					11 役務費	1,726	
					12 委託料	5,000	
○国際交流員活用 4,307千円 ベトナム人国際交流員を活用した積極的な情報発信					13 使賃料	415	
					18 負担金	131	
ほか							

年度	4	事業名 (事項)	多文化共生支援		担当部課 地域創生部 ぐんま暮らし・外国人活躍推進課	担当者 多文化共生係	連絡先 027-226-3394
会計名	一般会計				説明書ページ	84	
予算科目	第4款 地域創生費 — 第2項 ぐんま暮らし・外国人活躍推進費 — 第3目 外国人活躍推進費						
事業期間	年 ~ 年	根拠法令					
	事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源		
当初予算額	31,630	15,314	16,000		316		
(前年度)	31,275	14,417	16,000		858		
(前々年度)	29,191	13,124	6,000		10,067		
決算額							
(前年度)	30,156	13,330	16,000		826		
(前々年度)	26,160	13,513	572		12,075		
事業目的 (県民にとってのメリットは?)					新・総合計画(基本計画)との関連		
日本人・外国人県民が相互に理解し合い、外国人県民が持つ多様性を活かし、共に参加・協働、安心して暮らし、活躍できる、活力ある多文化共生・共創社会づくりを促進する。					IV 県民総活躍社会の実現		
事業計画 (具体的に何をするのか?)					事業費(節)の内訳		
○「やさしい日本語」普及 530千円 啓発教材の作成や研修会を実施					1 報酬	264	
					7 報償費	1,420	
○多文化共生・共創推進会議設置 421千円					8 旅費	1,226	
○多文化共生・共創推進月間啓発 1,700千円 県民と多文化共生・共創の理念を共有するため、集中的に情報を発信					10 需用費	1,764	
					11 役務費	1,931	
					12 委託料	22,478	
○ぐんま外国人総合相談ワンストップセンター運営 19,986千円 多言語で行政・生活全般の情報提供を行い、相談に応じる窓口を運営					13 使賃料	135	
					18 補助金	2,412	
ほか							

第3項 文化振興費 - 第2目 文化振興費

年度	4	事業名 (事項)	文化づくり推進			担当部課	地域創生部 文化振興課	
						担当者	文化企画係、歴史遺産係	
						連絡先	027-226-2592、2525	
会計名	一般会計				説明書ページ	85		
予算科目	第4款 地域創生費 - 第3項 文化振興費 - 第2目 文化振興費							
事業期間	H15年 ~ 年		根拠法令					
		事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源		
当初予算額		63,393		57,686		5,707		
(前年度)		120,840	50,000	65,536		5,304		
(前々年度)		143,387	65,194	70,389		7,804		
決算額								
(前年度)		59,627	8,000	46,223		5,404		
(前々年度)		76,137	33,409	38,249		4,479		
事業目的 (県民にとってのメリットは?)					新・総合計画(基本計画)との関連			
県内各地の伝統文化や上毛かるたなど、これまで築き上げてきた本県の文化を継承するとともに、様々な文化芸術活動を支援することで文化を通じた心豊かな地域づくりを進める。					VI 官民共創コミュニティの育成			
事業計画 (具体的に何をするのか?)					事業費(節)の内訳			
○文化づくり支援事業 8,266千円					1 報酬	1,296		
・「群馬の文化」形成に資する地域での多様で創造性豊かな活動を支援					7 報償費	1,401		
・第三者機関による補助事業の事前・事後評価					8 旅費	1,440		
○伝統文化継承事業 12,787千円					10 需用費	955		
○上毛かるた活用事業 16,963千円					11 役務費	10,226		
○群馬県文化振興基金積立 19,888千円					12 委託料	11,120		
○群馬の温泉文化発信 518千円					13 使賃料	40		
群馬の温泉文化の調査研究、シンポジウムの開催 ほか					18 補助金等	16,520		
					24 積立金	19,868		
					その他	527		

年度	4	事業名 (事項)	文化団体等育成			担当部課	地域創生部 文化振興課	
						担当者	文化企画係、文化振興係	
						連絡先	027-226-2592、2593	
会計名	一般会計				説明書ページ	85		
予算科目	第4款 地域創生費 - 第3項 文化振興費 - 第2目 文化振興費							
事業期間	年 ~ 年		根拠法令	文化芸術振興基本法、社会教育法				
		事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源		
当初予算額		25,993		1,030		24,963		
(前年度)		25,963		1,000		24,963		
(前々年度)		25,963		1,000		24,963		
決算額								
(前年度)		25,653		690		24,963		
(前々年度)		10,357		156		10,201		
事業目的 (県民にとってのメリットは?)					新・総合計画(基本計画)との関連			
○個性豊かな県民文化の創造を促す。 ○若手芸術家や芸術文化に親しむ青少年の育成を図る。 ○文化団体を支援することで、芸術文化の振興・発展を図る。					VI 官民共創コミュニティの育成			
事業計画 (具体的に何をするのか?)					事業費(節)の内訳			
○はじめての文化体験事業 1,030千円					12 委託料	1,030		
文化団体を幼稚園・保育園等に派遣し、ワークショップ等を開催					18 補助金	24,963		
○芸術文化団体への補助 (2団体)								
みやま文庫、(公財)群馬草津国際音楽協会 24,963千円								

第3項 文化振興費 - 第2目 文化振興費

年度	4	事業名 (事項)	芸術文化事業推進		担当部課	地域創生部 文化振興課	
					担当者	文化企画係、文化振興係	
					連絡先	027-226-2592、2593	
会計名	一般会計				説明書ページ	85	
予算科目	第4款 地域創生費 - 第3項 文化振興費 - 第2目 文化振興費						
事業期間	年 ~ 年		根拠法令				
	事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源		
当初予算額	340,521	36,017	10,005		294,499		
(前年度)	329,711	5,543	30,153		294,015		
(前々年度)	370,123	30,000	307,255		32,868		
決算額							
(前年度)	324,174	2,776	30,150		291,248		
(前々年度)	296,438	10,215	268,952		17,271		
事業目的 (県民にとってのメリットは?)					新・総合計画(基本計画)との関連		
○群馬の文化の象徴でもある群馬交響楽団の活動への支援等を通じ、県民が優れた芸術文化に親しむ機会を提供する。 ○アーティスト支援、アート教育・体験、地域振興・経済効果の好循環を実現し、県民が優れた芸術文化に親しむ機会を提供する。					VI 官民共創コミュニティの育成		
事業計画 (具体的に何をするのか?)					事業費(節)の内訳		
○群馬交響楽団支援 317,080千円					1	報酬	1,542
・群響レベルアップ支援 18,697千円					3	手当等	301
・楽団運営費補助 169,355千円					4	共済費	304
・移動音楽教室 56,450千円					7	報償費	21,510
・高校音楽教室 18,477千円					8	旅費	257
・群響スペシャルコンサート・群響キャラバン 31,000千円 ほか					10	需用費	384
○アーティストックGUNMA 10,112千円					11	役務費	793
・アーティストが地域で創作活動やワークショップを実施する					12	委託料	38,743
AIRアートプロジェクトや、美術館等と連携したアート教育を					13	使賃料	4,451
推進 ほか					18	補助金等	272,236

年度	4	事業名 (事項)	教育文化事業団運営		担当部課	地域創生部 文化振興課	
					担当者	文化企画係	
					連絡先	027-226-2592	
会計名	一般会計				説明書ページ	85	
予算科目	第4款 地域創生費 - 第3項 文化振興費 - 第2目 文化振興費						
事業期間	S52年 ~ 年		根拠法令				
	事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源		
当初予算額	153,703	5,000	6,690		142,013		
(前年度)	110,332		7,584		102,748		
(前々年度)	114,305		7,806		106,499		
決算額							
(前年度)	104,569		6,839		97,730		
(前々年度)	89,570		3,619		85,951		
事業目的 (県民にとってのメリットは?)					新・総合計画(基本計画)との関連		
従来から実施してきた優れた芸術文化鑑賞の機会の提供、創造的な芸術文化活動の支援等に加え、新たな文化の育成、コミュニティにおける文化活動の活性化等新たな機能を果たし、文化のコンシェルジュとして文化活動を支援する。					VI 官民共創コミュニティの育成		
事業計画 (具体的に何をするのか?)					事業費(節)の内訳		
○(公財)群馬県教育文化事業団の人件費・事務費補助 107,070千円					12	委託料	46,633
○県民芸術祭等の事業委託 46,633千円					18	補助金	107,070
・県民の文化芸術活動の振興 31,649千円							
県展(5部門)開催、県民音楽の広場、群響企画コンサート等							
・新たな文化の育成 12,070千円							
マンガアニメフェスタ、動画配信の充実等							
・地域文化拠点活性化事業 2,914千円							
バックアップセンター運営等							

第3項 文化振興費 — 第4目 世界遺産費

年度	4	事業名 (事項)	世界遺産継承推進 (世界遺産保存整備除く)		担当部課	地域創生部 文化振興課	
					担当者	世界遺産係	
					連絡先	027-226-2326	
会計名	一般会計				説明書ページ	86	
予算科目	第4款 地域創生費 — 第3項 文化振興費 — 第4目 世界遺産費						
事業期間	H16年 ~ 年		根拠法令	文化財保護法等			
	事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源		
当初予算額	18,727		4,390		14,337		
(前年度)	21,510		4,455		17,055		
(前々年度)	22,435	5,726	4,727		11,982		
決算額							
(前年度)	19,196		4,455		14,741		
(前々年度)	14,952	3,089	4,138		7,725		
事業目的 (県民にとってのメリットは?)					新・総合計画(基本計画)との関連		
世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」を将来に確実に引継ぐとともに、日本遺産・ぐんま絹遺産などの絹遺産の価値を発信することで、地域全体で遺産と絹文化を守り、それらを活用した地域づくりを推進する。					VI 官民共創コミュニティの育成		
事業計画 (具体的に何をするのか?)					事業費(節)の内訳		
○世界遺産推進 6,585千円 世界遺産を次世代へ継承するため、世界遺産に係る協議会・委員会の運営や、企業等からの寄附の基金への積立等を行う。					7 報償費	508	
○ぐんま絹遺産推進 11,005千円 絹文化を次世代に継承するため、ぐんま絹遺産の保存活用に資する事業の支援や、日本遺産の情報発信等を行う。					8 旅費	1,359	
○ユネスコ対応 1,137千円 ユネスコへの報告及び遺産影響評価マニュアルの製作を行う。					10 需用費	2,222	
					11 役務費	499	
					12 委託料	3,813	
					13 使賃料	70	
					18 補助金等	7,566	
					24 積立金	2,690	

年度	4	事業名 (事項)	世界遺産継承推進 (世界遺産保存整備)		担当部課	地域創生部 文化振興課	
					担当者	世界遺産係	
					連絡先	027-226-2326	
会計名	一般会計				説明書ページ	86	
予算科目	第4款 地域創生費 — 第3項 文化振興費 — 第4目 世界遺産費						
事業期間	H16年 ~		根拠法令	文化財保護法等			
	事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源		
当初予算額	101,678		1,000	75,000	25,678		
(前年度)	96,800		1,000		95,800		
(前々年度)	196,690		1,000	173,000	22,690		
決算額							
(前年度)	57,417		1,000		56,417		
(前々年度)	63,065		1,000	62,000	65		
事業目的 (県民にとってのメリットは?)					新・総合計画(基本計画)との関連		
世界遺産構成4資産の保存や活用のための整備に対し補助金を交付し、資産を良好な状態で後世に伝えとともに、その公開活用を図る。					VI 官民共創コミュニティの育成		
事業計画 (具体的に何をするのか?)					事業費(節)の内訳		
○世界遺産保存整備 101,678千円 関係市町が行う世界遺産構成4資産の保存修理事業に対して補助 ・富岡製糸場：乾燥場・繭扱場保存整備、南面崩落対策工事ほか ・田島弥平旧宅：桑場整備に向けた全体基本設計ほか ・高山社跡：母屋兼蚕室修復工事ほか ・荒船風穴：落石対策・サイン整備工事、保存活用計画改定ほか					18 補助金	101,678	

第3項 文化振興費 — 第5目 近代美術館費・第6目 館林美術館費

年度	4	事業名 (事項)	美術展示 (近代美術館)		担当部課	近代美術館	
					担当者	学芸係	
					連絡先	027-346-5560	
会計名	一般会計				説明書ページ	86	
予算科目	第4款 地域創生費 — 第3項 文化振興費 — 第5目 近代美術館費						
事業期間	S49年 ~ 年		根拠法令	博物館法、美術館の設置及び管理に関する条例等			
	事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源		
当初予算額	35,801		26,718		9,083		
(前年度)	34,584		31,856		2,728		
(前々年度)	36,417		33,833		2,584		
決算額							
(前年度)	28,961		26,233		2,728		
(前々年度)	26,110		21,264		4,846		
事業目的 (県民にとってのメリットは?)					新・総合計画(基本計画)との関連		
本県の中核的美術館として、近現代芸術作品を中心に国内外の優れた作品を紹介し、県民の豊かな心の醸成に役立てるとともに、美術に関する知識や教養、幅広い関心を育む。					VI 官民共創コミュニティの育成		
事業計画 (具体的に何をするのか?)					事業費 (節) の内訳		
○常設展示 4,693千円 ルノワールやピカソ等西洋近代美術、安井曾太郎等の日本洋画、山口薫、福沢一郎等群馬ゆかりの作家の作品、戸方庵井上コレクション等の日本美術、多彩な現代美術作品を展示。					7	報償費	1,046
					8	旅費	782
					10	需用費	10,274
					11	役務費	14,051
○企画展示 31,108千円 ・「うるわしき薔薇(ばら)〜ルドゥーテ『バラ図譜』を中心に」(7/9〜8/28)					12	委託料	6,766
・「理想の書物 英国ヴィクトリア朝挿絵本からプライベート・プレスの世界へ」(9/17〜11/13)					13	使賃料	2,882
・「アートのための場所づくり」(R5/1/21〜4/9)							

年度	4	事業名 (事項)	美術展示 (館林美術館)		担当部課	館林美術館	
					担当者	学芸係	
					連絡先	0276-72-8188	
会計名	一般会計				説明書ページ	87	
予算科目	第4款 地域創生費 — 第3項 文化振興費 — 第6目 館林美術館費						
事業期間	H13年 ~ 年		根拠法令	博物館法、美術館の設置及び管理に関する条例等			
	事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源		
当初予算額	29,511		26,167		3,344		
(前年度)	37,234	941	28,416		7,877		
(前々年度)	30,405		26,647		3,758		
決算額							
(前年度)	37,234	2,500	30,416		4,318		
(前々年度)	29,350		15,605		13,745		
事業目的 (県民にとってのメリットは?)					新・総合計画(基本計画)との関連		
館のテーマである「自然と人間」に沿って特色・魅力のある企画展を開催し、地域に根ざした美術館として、多くの県民が広く美術に親しむ機会を提供する。					VI 官民共創コミュニティの育成		
事業計画 (具体的に何をするのか?)					事業費 (節) の内訳		
○企画展示 29,511千円 ・「ものがたりの予感」(4/23〜6/26)					7	報償費	100
・「生誕110年 傑作誕生・佐藤忠良」(7/6〜9/19)					8	旅費	326
・「かこさとしの世界 だるまちゃんもからすのパンやさんも大集合!」(10/8〜12/25)					10	需用費	4,620
・「山中現展」(R5/1/28〜4/2)					11	役務費	5,321
					12	委託料	4,876
					13	使賃料	168
					18	負担金	14,100

第3項 文化振興費 — 第7目 歴史博物館費・第8目 自然史博物館費

年度	4	事業名 (事項)	博物展示 (歴史博物館)			担当部課	歴史博物館	
						担当者	学芸係	
						連絡先	027-346-5522	
会計名	一般会計				説明書ページ	88		
予算科目	第4款 地域創生費 — 第3項 文化振興費 — 第7目 歴史博物館費							
事業期間	S54年 ~ 年		根拠法令	博物館法、歴史博物館の設置及び管理に関する条例				
	事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源			
当初予算額	50,166	1,500	29,613		19,053			
(前年度)	47,586	1,962	28,870		16,754			
(前々年度)	59,526	13,664	28,236		17,626			
決算額								
(前年度)	39,249		24,052		15,197			
(前々年度)	42,378	12,239	24,667		5,472			
事業目的 (県民にとってのメリットは?)					新・総合計画(基本計画)との関連			
「いにしへの鼓動を感じる博物館」として、東国文化をはじめ、群馬のすばらしい歴史を学び、子どもたちが自分たちの生まれ育った故郷への愛着と誇りを育む。					VI 官民共創コミュニティの育成			
事業計画 (具体的に何をするのか?)					事業費(節)の内訳			
○常設展示 8,611千円 原始から近現代に至るまでの群馬県の歴史を、一般の方々に分かりやすく展示。また、国宝展示室では、古墳大国・群馬を象徴する国宝「群馬県綿貫観音山古墳出土品」の価値を伝える展示を実施。					7 報償費	1,323		
					8 旅費	1,177		
					10 需用費	12,470		
					11 役務費	17,891		
					12 委託料	16,795		
○企画展示 41,555千円 ・春の特別展「高崎藩のお殿様」(4/16~6/5) ・「戦国上州の刀剣と甲冑」(仮)(7/9~8/28) ・「上野三碑の時代」(仮)(10/8~11/27) ・新春特別収蔵品展「日本の凧」(仮)(12/17~R5/2/12)					13 使賃料	200		
					17 備品費	310		

年度	4	事業名 (事項)	博物展示 (自然史博物館)			担当部課	自然史博物館	
						担当者	地学研究係、生物研究係	
						連絡先	0274-60-1200	
会計名	一般会計				説明書ページ	88		
予算科目	第4款 地域創生費 — 第3項 文化振興費 — 第8目 自然史博物館費							
事業期間	H8年 ~ 年		根拠法令	博物館法、自然史博物館の設置及び管理に関する条例				
	事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源			
当初予算額	60,499		56,383		4,116			
(前年度)	61,177		54,160		7,017			
(前々年度)	69,790		62,247		7,543			
決算額								
(前年度)	59,177		54,915		4,262			
(前々年度)	36,739		33,833		2,906			
事業目的 (県民にとってのメリットは?)					新・総合計画(基本計画)との関連			
調査研究の結果と資料の収集や展示の工夫などを通して、地球の生い立ちから生物の進化、本県の自然の現状とその変遷について県民の理解を深めるとともに、本県の教育、学術及び文化の発展に寄与する。					VI 官民共創コミュニティの育成			
事業計画 (具体的に何をするのか?)					事業費(節)の内訳			
○常設展示 33,812千円 地球誕生から生物の進化、県内の多様な自然環境、ヒトの進化と自然環境との関係を理解してもらうため、実物を中心とした資料を5つの展示コーナーに分けて分かりやすく展示。					7 報償費	325		
					8 旅費	621		
					10 需用費	2,491		
					11 役務費	381		
○企画展示 26,687千円 ・「魅惑のスパイス&ハーブ」(3/19~5/15) ・「宇宙への挑戦」(7/8~11/20) ・特別展「ぐんまの自然の『いま』を伝える」(R5/1/21~2/12) ・「毒のある生きもの大図鑑」(R5/3/18~5/28)					12 委託料	55,706		
					13 使賃料	975		

第3項 文化振興費 — 第9目 文学館費・第10目 世界遺産センター費

年度	4	事業名 (事項)	文学資料展示 (土屋文明記念文学館)	担当部課	土屋文明記念文学館
				担当者	学芸係
				連絡先	027-373-7721
会計名	一般会計			説明書ページ	89
予算科目	第4款 地域創生費 — 第3項 文化振興費 — 第9目 文学館費				
事業期間	H 8年 ~ 年	根拠法令	博物館法、土屋文明記念文学館の設置及び管理に関する条例		
	事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源
当初予算額	13,014		2,663		10,351
(前年度)	12,277		2,125		10,152
(前々年度)	12,917		2,525		10,392
決算額					
(前年度)	12,277		3,380		8,897
(前々年度)	8,507		1,244		7,263
事業目的 (県民にとってのメリットは?)				新・総合計画(基本計画)との関連	
本県ゆかりの文学者の資料を中心に紹介する常設展示と、幅広いニーズに応える年4回の企画展を開催し、文学に関する県民の理解を深める。				VI 官民共創コミュニティの育成	
事業計画 (具体的に何をするのか?)				事業費 (節) の内訳	
○常設展示 1,558千円 文化勲章を受章した日本を代表する歌人である土屋文明の生涯と業績を紹介。また、万葉集から現代短歌に至るまでの写本や色紙、短冊などを展示。				7 報償費	1,500
				8 旅費	281
				10 需用費	879
				11 役務費	2,043
○企画展示 11,456千円				12 委託料	6,641
・「落語と文学」(4/16~6/12)				13 使賃料	1,080
・「絵本展」(仮)(7/16~9/19)				17 備品費	590
・「萩原朔太郎大全2022」(10/8~12/18)					
・「文学者の愛用品展」(R5/1/21~3/21)					

年度	4	事業名 (事項)	世界遺産センター 普及啓発	担当部課	世界遺産センター
				担当者	普及調査係
				連絡先	0274-67-7821
会計名	一般会計			説明書ページ	89
予算科目	第4款 地域創生費 — 第3項 文化振興費 — 第10目 世界遺産センター費				
事業期間	R 2年 ~ 年	根拠法令	群馬県立世界遺産センターの設置及び管理に関する条例等		
	事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源
当初予算額	47,356		29		47,327
(前年度)	42,098		29		42,069
(前々年度)	52,098	11,908	246		39,944
決算額					
(前年度)	42,093		24		42,069
(前々年度)	29,023	7,651	41		21,331
事業目的 (県民にとってのメリットは?)				新・総合計画(基本計画)との関連	
世界遺産センター(愛称:「世界を変える生糸(いと)の力」研究所、略称:セカイト)を運営し、世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の価値や魅力を分かりやすく紹介するとともに、世界遺産や日本遺産、ぐんま絹遺産を総合的に情報発信する。				VI 官民共創コミュニティの育成	
事業計画 (具体的に何をするのか?)				事業費 (節) の内訳	
○センター管理運営 37,215千円				1 報酬	10,308
○普及活動 4,779千円				7 報償費	184
各種広報媒体や世界遺産センターの更新型展示等を活用し、世界遺産やぐんま絹遺産等の魅力を普及・啓発する。				8 旅費	3,025
				10 需用費	11,440
○学校教育連携推進 1,613千円				11 役務費	1,504
県民団体と連携した学校キャラバン事業等を実施し、子どもたちが世界遺産や絹文化に触れる機会を設ける。				12 委託料	8,531
				13 使賃料	8,479
○調査研究 3,749千円				17 備品費	330
世界遺産等の未だ解明されていない事項に関する各種調査研究を実施する。				18 負担金	31
				その他	3,524

第4項 文化財保護費 — 第2目 文化財保護費

年度	4	事業名 (事項)	文化財保存管理指導 (文化財保存事業費補助)	担当部課		地域創生部 文化財保護課	
				担当者	連絡先	文化財活用係	
会計名	一般会計					説明書ページ	90
予算科目	第4款 地域創生費 — 第4項 文化財保護費 — 第2目 文化財保護費						
事業期間	年 ~ 年		根拠法令	文化財保護法、群馬県文化財保護条例			
	事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源		
当初予算額	86,732	1,366			85,366		
(前年度)	82,247	1,164			81,083		
(前々年度)	74,383	7,566			66,817		
決算額							
(前年度)	82,247	1,287			80,960		
(前々年度)	84,564	7,884	40,000		36,680		
事業目的 (県民にとってのメリットは?)				新・総合計画(基本計画)との関連			
全国に誇りうる県内の国指定文化財や群馬県の歴史や文化にとって貴重な県指定文化財の整備等への補助、埋蔵文化財発掘調査等への補助により、今日まで守り伝えられた国民・県民の財産を確実に後世へ引き継いでいくとともに地域の歴史・文化の理解を深める。				VI 官民共創コミュニティの育成			
事業計画 (具体的に何をするのか?)				事業費(節)の内訳			
○文化財保存事業費補助 86,732千円 国・県指定文化財等の保存活用事業や市町村が行う埋蔵文化財調査に対し補助。 ・国指定文化財保存活用 12件 ・県指定文化財保存活用 12件 ・埋蔵文化財発掘調査等 9件 ・防災設備保守点検 8件 計41件				18 補助金		86,732	

年度	4	事業名 (事項)	文化財保存管理指導 (文化財保存事業費補助除く)	担当部課		地域創生部 文化財保護課	
				担当者	連絡先	文化財活用係	
会計名	一般会計					説明書ページ	90
予算科目	第4款 地域創生費 — 第4項 文化財保護費 — 第2目 文化財保護費						
事業期間	年 ~ 年		根拠法令	文化財保護法、群馬県文化財保護条例			
	事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源		
当初予算額	4,008	2,038			1,970		
(前年度)	7,598	4,500			3,098		
(前々年度)	7,603	4,500			3,103		
決算額							
(前年度)	7,598	4,500			3,098		
(前々年度)	7,156	4,304			2,852		
事業目的 (県民にとってのメリットは?)				新・総合計画(基本計画)との関連			
国・県指定文化財の現状を把握する調査を実施して保護や保存・活用を進め、将来に向けて良好な状態で残していく。				VI 官民共創コミュニティの育成			
事業計画 (具体的に何をするのか?)				事業費(節)の内訳			
○特別天然記念物カモシカ食害対策調査 1,560千円 ・県内2カ所のカモシカ保護地域(越後・日光・三国山系、関東山地)について通常調査を実施し、保護管理のための生態状況を把握する。				7 報償費		2,755	
				8 旅費		779	
				10 需用費		295	
				11 役務費		179	
○指定文化財管理(文化財パトロール) 2,046千円 ・国・県指定文化財等(543件)の現状把握のため、文化財保護指導委員に依頼してのパトロールを実施する。							
○高山蝶パトロール 137千円 ・県指定のヒメギフチョウやミヤマシロチョウ等の保護管理のため、保護団体等に依頼してパトロールを実施する。 ほか							

第4項 文化財保護費 — 第2目 文化財保護費

年度	4	事業名 (事項)	埋蔵文化財調査センター運営	担当部課	地域創生部 文化財保護課	
				担当者	埋蔵文化財係	
				連絡先	027-226-4696	
会計名	一般会計			説明書ページ		90
予算科目	第4款 地域創生費 — 第4項 文化財保護費 — 第2目 文化財保護費					
事業期間	年 ~ 年		根拠法令	群馬県埋蔵文化財調査センターの設置及び管理に関する条例		
				事業費	国庫支出金	その他特定財源
				県債		一般財源
当初予算額	47,254	1,477	72			45,705
(前年度)	43,595		72			43,523
(前々年度)	43,595		66			43,529
決算額						
(前年度)	43,595		72			43,523
(前々年度)	42,796		86			42,710
事業目的 (県民にとってのメリットは?)				新・総合計画(基本計画)との関連		
発掘調査により出土した出土品及び考古資料の保存管理を行うとともに、展示公開等によって群馬県の歴史文化の魅力を発信して県民の誇り醸成につなげていく。				VI 官民共創コミュニティの育成		
事業計画 (具体的に何をやるのか?)				事業費(節)の内訳		
○埋蔵文化財調査センター管理運営委託 15,133千円 ・発掘調査された出土品や図面・写真等の記録の保管・活用。				12	委託料	47,254
○埋蔵文化財調査センター展示普及委託 25,856千円 ・発掘情報館の運営、発掘調査資料の展示公開・貸出し、最新情報展・専門講座開催、夏休み親子宿題教室・体験学習の実施。						
○金井遺跡群出土品調査整理委託 3,310千円 ・金井遺跡群の出土品を調査整理することで、考古資料としての価値を磨き上げ、古墳文化の魅力を発信。						
○発掘調査資料の3D計測によるアーカイブ化 2,955千円 ・県保有の発掘調査資料の3D画像をホームページで公開。						
年度	4	事業名 (事項)	「偲ぶ毛の国」群馬の魅力発掘・発信	担当部課	地域創生部 文化財保護課	
				担当者	文化財活用係	
				連絡先	027-226-4684	
会計名	一般会計			説明書ページ		91
予算科目	第4款 地域創生費 — 第4項 文化財保護費 — 第2目 文化財保護費					
事業期間	年 ~ 年		根拠法令			
				事業費	国庫支出金	その他特定財源
				県債		一般財源
当初予算額	18,592	1,880	15			16,697
(前年度)	24,998	4,124	15			20,859
(前々年度)	31,132	9,015	14			22,103
決算額						
(前年度)	24,998	4,124	15			20,859
(前々年度)	29,294	8,359	13			20,922
事業目的 (県民にとってのメリットは?)				新・総合計画(基本計画)との関連		
国史跡の上野国分寺跡・観音山古墳の保存と活用を推進するとともに、近世寺社装飾建築の魅力を発信し、県民の誇り醸成と観光県ぐんまの推進につなげていく。				VI 官民共創コミュニティの育成		
事業計画 (具体的に何をやるのか?)				事業費(節)の内訳		
○上野国分寺跡保護管理運営 10,283千円 ・指定地の維持管理とガイダンス施設に解説員を配置し、郷土学習・情報発信を推進。 ・ガイダンスの展示内容を更新し、情報発信を推進。				1	報酬	3,471
				3	手当等	695
				4	共済費	740
				7	報償費	368
○観音山古墳保護管理運営 4,496千円 ・指定地の維持管理を行うとともに、地元保存会に管理・解説等を委託し、見学者の利便性を高め郷土学習・情報発信を推進。				8	旅費	542
				10	需用費	1,320
				11	役務費	126
○ぐんまの寺社魅力発掘・発信 3,813千円 ・近世装飾寺社建築について、シンポジウムの開催、寺社アプリの更新、パンフレット作成等を実施して情報発信を推進。				12	委託料	10,650
				13	使賃料	680

第5項 スポーツ振興費 - 第2目 スポーツ振興費

年度	4	事業名 (事項)	生涯スポーツ振興	担当部課	地域創生部 スポーツ振興課
				担当者	スポーツ振興係、アウトドアスポーツ係
				連絡先	027-226-2081
会計名	一般会計			説明書ページ	91
予算科目	第4款 地域創生費 - 第5項 スポーツ振興費 - 第2目 スポーツ振興費				
事業期間	年 ~ 年	根拠法令	スポーツ振興基本法		
	事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源
当初予算額	12,410	707	300		11,403
(前年度)	11,589	1,026	500		10,063
(前々年度)	17,619	7,934	500		9,185
決算額					
(前年度)	8,595		500		8,095
(前々年度)	13,299	6,121	300		6,878
事業目的 (県民にとってのメリットは?)				新・総合計画(基本計画)との関連	
○生涯スポーツ振興のため、功績のあった功労者と団体を表彰するほか、スポーツ推進委員の活動充実を図る。 ○本県の自然環境を活かしたぐんま県境稜線トレイルの活用を促進する。				VI 官民共創コミュニティの育成	
事業計画 (具体的に何をするのか?)				事業費(節)の内訳	
○生涯スポーツ功労者表彰等 2,893千円				8 旅費	681
○地域スポーツ振興 93千円				10 需用費	3,180
・スポーツ推進委員全国協議会等				11 役務費	150
○ぐんま県境稜線トレイル活用推進 9,424千円				12 委託料	2,800
・登山道や避難小屋等の維持管理、安全確認調査、野反湖における周辺観光や安全登山情報の提供等				18 負担金	5,599

年度	4	事業名 (事項)	スポーツイベント開催	担当部課	地域創生部 スポーツ振興課
				担当者	競技力向上係、スポーツ振興係、アウトドアスポーツ係
				連絡先	027-226-2081
会計名	一般会計			説明書ページ	91
予算科目	第4款 地域創生費 - 第5項 スポーツ振興費 - 第2目 スポーツ振興費				
事業期間	年 ~ 年	根拠法令	スポーツ基本法		
	事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源
当初予算額	51,203				51,203
(前年度)	46,771				46,771
(前々年度)	54,290	71			54,219
決算額					
(前年度)	46,771	5,455			41,316
(前々年度)	90,000		68,232		21,768
事業目的 (県民にとってのメリットは?)				新・総合計画(基本計画)との関連	
県民のスポーツ活動の活性化や、本県のイメージアップを図るため、ぐんまマラソンやニューイヤー駅伝等の各種スポーツイベントを開催する。				VI 官民共創コミュニティの育成	
事業計画 (具体的に何をするのか?)				事業費(節)の内訳	
○本県開催の関東大会等開催費補助・国際大会派遣費補助等 1,200千円				7 報償費	10
○群馬県民スポーツ大会開催 644千円				8 旅費	172
○ニューイヤー駅伝 7,454千円				10 需用費	1,801
○スポーツイベント誘致 246千円				11 役務費	77
○ぐんまマラソン (R4.11.3開催予定) 41,659千円				12 委託料	873
・種目 フルマラソン(42.195km)、10kmマラソン、 リバーサイドジョギング(約4km)				13 使賃料	140
・定員 合計 15,000人 (うちフルマラソン 5,000人)				18 負担金等	48,130

第5項 スポーツ振興費 - 第2目 スポーツ振興費

年度	4	事業名 (事項)	プロスポーツ支援		担当部課	地域創生部 スポーツ振興課	
					担当者	スポーツ振興係	
					連絡先	027-226-2081	
会計名	一般会計					説明書ページ	91
予算科目	第4款 地域創生費 - 第5項 スポーツ振興費 - 第2目 スポーツ振興費						
事業期間	年 ~ 年	根拠法令					
	事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源		
当初予算額	5,076	2,400			2,676		
(前年度)	3,798	1,125			2,673		
(前々年度)	2,331	1,125			1,206		
決算額							
(前年度)	3,798	1,125			2,673		
(前々年度)	839	375			464		
事業目的 (県民にとってのメリットは?)					新・総合計画(基本計画)との関連		
○県内のプロスポーツチームと連携し、スポーツの成長産業化や、プロスポーツを活用した地域活性化を図る。 ○パブリックビューイングや紹介動画作成、スポーツ教室の実施により、プロスポーツチームの活動を支援する。					VI 官民共創コミュニティの育成		
事業計画 (具体的に何をするのか?)					事業費(節)の内訳		
○プロスポーツによる地域活性化推進 2,775千円					8 旅費	151	
・県庁32階「NETSUGEN」を活用し、スポーツの成長産業化や地域活性化のアイデアを具現化するイベント実施 ・県内プロスポーツのパブリックビューイング実施 ・「tsulunos」を活用したプロスポーツ動画配信					10 需用費	124	
○プロスポーツ感動体験プログラム(委託事業) 2,301千円					12 委託料	4,800	
・小・中学校、スポーツ少年団等を対象に、プロスポーツチームに所属する選手やコーチ等を講師として派遣し、スポーツ教室を実施					18 負担金	1	

年度	4	事業名 (事項)	競技力向上		担当部課	地域創生部 スポーツ振興課	
					担当者	競技力向上係	
					連絡先	027-226-2082	
会計名	一般会計					説明書ページ	92
予算科目	第4款 地域創生費 - 第5項 スポーツ振興費 - 第2目 スポーツ振興費						
事業期間	年 ~ 年	根拠法令		スポーツ基本法			
	事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源		
当初予算額	255,319	28,310	63,100		163,909		
(前年度)	209,492	2,310	63,100		144,082		
(前々年度)	209,458	2,310	203,100		4,048		
決算額							
(前年度)	169,663	2,310	163,100		4,253		
(前々年度)	96,471		40		96,431		
事業目的 (県民にとってのメリットは?)					新・総合計画(基本計画)との関連		
「スポーツ県群馬」を目指して、全国や世界で活躍する本県選手の発掘・育成を目標として、(公財)群馬県スポーツ協会が実施する競技力向上対策事業及び各競技団体や学校体育団体が実施する選手強化活動に対して補助を行う。					VI 官民共創コミュニティの育成		
事業計画 (具体的に何をするのか?)					事業費(節)の内訳		
○競技力向上対策 250,000千円					7 報償費	300	
・団体対策推進(競技団体、高体連、中体連) ・ジュニア選手の発掘と育成 ・成年選手の強化 ・指導者の養成・資質向上 ・科学的データに基づくトレーニング環境整備等					8 旅費	23	
○国民スポーツ大会啓発(わくわく運動プロジェクト) 4,000千円					10 需用費	2,121	
○群馬県スポーツ顕彰等推進 1,220千円					11 役務費	62	
○トップアスリート就職支援 99千円					12 委託料	16,300	
					17 備品費	41,580	
					18 交付金等	194,933	

第5項 スポーツ振興費 - 第2目 スポーツ振興費

年度	4	事業名 (事項)	国民体育大会	担当部課	地域創生部 スポーツ振興課
				担当者	競技力向上係、総務企画係、競技運営係
				連絡先	027-226-2082
会計名	一般会計			説明書ページ	92
予算科目	第4款 地域創生費 - 第5項 スポーツ振興費 - 第2目 スポーツ振興費				
事業期間	年 ~ 年	根拠法令	スポーツ振興基本法		
	事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源
当初予算額	1,100,804		64,000		1,036,804
(前年度)	601,069		50,000		551,069
(前々年度)	611,910				611,910
決算額					
(前年度)	557,111	3,313	45,301		508,497
(前々年度)	503,743				503,743
事業目的 (県民にとってのメリットは?)				新・総合計画(基本計画)との関連	
○元気な群馬を創り出す原動力として、本県代表選手の国民体育大会での活躍を期待し、大会派遣に要する経費等を補助する。 ○R11年に本県で開催予定の国民スポーツ大会に向け、開催準備を進めるとともに、財政負担の平準化のため基金の積立てを行う。				VI 官民共創コミュニティの育成	
事業計画 (具体的に何をするのか?)				事業費(節)の内訳	
○国民体育大会派遣費補助 50,929千円 ・国民体育大会本大会に出場する選手団の派遣費の補助				7 報償費	100
○国体関東ブロック大会派遣費補助 33,325千円 ・国体関東ブロック大会に出場する選手団の派遣費の補助				8 旅費	1,364
○第83回国民スポーツ大会開催準備 8,500千円 ・群馬県準備委員会の運営等				18 補助金	99,340
○第83回国民スポーツ大会・第28回全国障害者スポーツ大会 開催基金積立 1,000,000千円 ほか				24 積立金	1,000,000

年度	4	事業名 (事項)	障害者スポーツ推進 (ふれあいスポーツラサ運営委託等以外)	担当部課	健康福祉部 障害政策課
				担当者	社会参加推進係
				連絡先	027-226-2634
会計名	一般会計			説明書ページ	92
予算科目	第4款 地域創生費 - 第5項 スポーツ振興費 - 第2目 スポーツ振興費				
事業期間	年 ~ 年	根拠法令			
	事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源
当初予算額	50,993	24,360			26,633
(前年度)	57,693	22,345			35,348
(前々年度)	59,384	23,352			36,032
決算額					
(前年度)	50,335	22,345			27,990
(前々年度)	24,128	12,302	100		11,726
事業目的 (県民にとってのメリットは?)				新・総合計画(基本計画)との関連	
障害者スポーツの普及推進及び競技力向上を図り、スポーツを通じた共生社会の実現を目指す。				IV 県民総活躍社会の実現	
事業計画 (具体的に何をするのか?)				事業費(節)の内訳	
○障害者スポーツ普及推進 7,873千円 ・学校におけるトップアスリートとの交流事業の実施等				8 旅費	283
○群馬県障害者スポーツ大会運営委託 10,497千円 ・県障害者スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会選手選考記録会の開催				12 委託料	48,520
○全国障害者スポーツ大会選手団派遣 13,461千円 ・全国障害者スポーツ大会に出場する選手団の派遣				18 補助金等	2,190
○障害者スポーツ競技力向上 13,005千円 ・全国大会や国際大会等で活躍する選手への活動費補助 ほか					

第5項 スポーツ振興費 - 第2目 スポーツ振興費・第3目 スポーツ施設費

年度	4	事業名 (事項)	障害者スポーツ推進 (ふれあいスポーツプラザ運営委託ほか)		担当部課	健康福祉部 障害政策課	
					担当者	社会参加推進係	
					連絡先	027-226-2634	
会計名	一般会計				説明書ページ	92	
予算科目	第4款 地域創生費 - 第5項 スポーツ振興費 - 第2目 スポーツ振興費						
事業期間	H3年 ~ 年	根拠法令	ふれあいスポーツプラザの設置及び管理に関する条例等				
	事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源		
当初予算額	211,568	2,657	6,525		202,386		
(前年度)	211,759	2,657	6,517		202,585		
(前々年度)	212,915	2,657	9,025		201,233		
決算額							
(前年度)	211,759	2,657	2,617		206,485		
(前々年度)	210,794	2,046	3,409		205,339		
事業目的 (県民にとってのメリットは?)					新・総合計画(基本計画)との関連		
スポーツを通じた共生社会の実現に向けて、障害者スポーツの拠点となる県立施設について、効果的・効率的な運営を図る。					IV 県民総活躍社会の実現		
事業計画 (具体的に何をするのか?)					事業費(節)の内訳		
○ふれあいスポーツプラザ運営 (H30.4.1~R5.3.31) 140,869千円					11 役務費	1,076	
○ゆうあいピック記念温泉プール運営 (H30.4.1~R5.3.31) 70,699千円					12 委託料	210,362	
					18 負担金	130	
※施設名の後の括弧書きは指定管理期間							

年度	4	事業名 (事項)	スポーツ施設管理・整備		担当部課	地域創生部 スポーツ振興課	
					担当者	企画調整係	
					連絡先	027-226-2079	
会計名	一般会計				説明書ページ	92	
予算科目	第4款 地域創生費 - 第5項 スポーツ振興費 - 第3目 スポーツ振興費						
事業期間	年 ~ 年	根拠法令	スポーツ基本法				
	事業費	国庫支出金	その他特定財源	県債	一般財源		
当初予算額	544,898		30,343	29,000	485,555		
(前年度)	421,136		24,759	7,000	389,377		
(前々年度)	628,617		103,009	135,000	390,608		
決算額							
(前年度)	421,715		22,639	5,000	394,076		
(前々年度)	645,438	836	94,263	127,000	423,339		
事業目的 (県民にとってのメリットは?)					新・総合計画(基本計画)との関連		
○県民の体力の増進、競技力向上及びスポーツの普及・振興の基盤となるスポーツ施設を、適正に管理・運営する。					IV 県民総活躍社会の実現		
○「群馬県スポーツ施設の設置及び管理に関する基本計画」で位置付けた競技別拠点スポーツ施設の計画的な整備を進める。							
事業計画 (具体的に何をするのか?)					事業費(節)の内訳		
○各施設の管理運営を指定管理により実施					12 委託料	374,718	
・ALSOKぐんま総合スポーツセンター(群馬県スポーツ協会)					13 使賃料	12,420	
・総合スポーツセンター伊香保リンク(群馬県スポーツ協会)					14 工事費	45,351	
・ライフル射撃場(群馬県ライフル射撃協会)					17 備品費	12,309	
○施設整備等					18 補助金等	100,100	
・市町村有競技別拠点スポーツ施設整備補助							
・総合スポーツセンター監視カメラ改修工事							
・ぐんまアリーナバスケットボールコート更新							
・アイスアリーナ非常用照明器具更新工事							
・ライフル射撃場バツル整備							